

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成21年2月13日
【四半期会計期間】	第72期第3四半期（自平成20年10月1日至平成20年12月31日）
【会社名】	花月園観光株式会社
【英訳名】	KAGETSUENKANKO Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 松尾 嘉之輔
【本店の所在の場所】	横浜市鶴見区鶴見1丁目1番1号
【電話番号】	045(572)2200
【事務連絡者氏名】	執行役員総務部長 堤 道雄
【最寄りの連絡場所】	横浜市鶴見区鶴見1丁目1番1号
【電話番号】	045(572)2200
【事務連絡者氏名】	執行役員総務部長 堤 道雄
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第72期 第3四半期 累計期間	第72期 第3四半期 会計期間	第71期
会計期間	自平成20年4月1日 至平成20年12月31日	自平成20年10月1日 至平成20年12月31日	自平成19年4月1日 至平成20年3月31日
売上高(千円)	1,279,856	482,063	1,225,821
経常損益(千円)	65,186	31,001	130,365
四半期(当期)純損益(千円)	73,661	29,982	292,024
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	13,893	14,254	-
資本金(千円)	-	883,300	883,300
発行済株式総数(千株)	-	17,666	17,666
純資産額(千円)	-	4,294,910	4,376,260
総資産額(千円)	-	6,830,332	6,912,911
1株当たり純資産額(円)	-	244.04	248.57
1株当たり四半期(当期)純損益 金額(円)	4.18	1.70	16.58
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
1株当たり配当額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	-	62.9	63.3
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	206,281	-	-
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	6,130	-	-
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	213,395	-	-
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	-	119,231	-
従業員数(人)	-	41	30

- (注) 1. 当社は第72期より四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度にかかる主要な経営指標等の推移については記載しておりません。又、第71期は単体のキャッシュ・フローの記載をしていないため、記載しておりません。
2. 第71期及び第72期第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、1株当たり四半期(当期)純損失であり、また、潜在株式が存在していないため記載しておりません。また、第72期第3四半期会計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。
3. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

## 2【事業の内容】

当第3四半期会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 3【関係会社の状況】

当第3四半期会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

## 4【従業員の状況】

提出会社の状況

平成20年12月31日現在

従業員数（人）	41	(53)
---------	----	------

- (注) 1. 従業員数は就業人員(当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含む。)であり、臨時雇用者数(パートタイマーを含む。)は、( )内に当第3四半期会計期間の平均人員を外数で記載しております。
2. 満60才定年制を採用しております。

## 第2【事業の状況】

### 1【売上高の状況】

当第3四半期会計期間の売上高実績を示すと、次のとおりであります。

	当第3四半期会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
競輪関連事業(千円)	482,063

(注)1. 主な相手先別の売上実績及び当該売上実績の総売上実績に対する割合

相手先	当第3四半期会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	
	金額(千円)	割合(%)
神奈川県競輪組合	227,472	47.2

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態及び経営成績の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第3四半期会計期間の売上高は、4億8千2百万円となりました。花月園競輪場は本場開催の日数が3日減少したものの、他場の競輪開催の車券を場で発売する場外開催の日数が7日増加し、売上高は対前年2千8百万円増の2億3千5百万円、選手宿舍の売上高は賃貸料変更等により対前年8百万円増の5千4百万円となりました。一昨年11月に事業譲受けをしたサテライトかしまの売上高は8千3百万円となり順調に推移しております。その結果、営業利益は5千3百万円、経常利益は3千1百万円、四半期純利益は、2千9百万円となりました。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。 )は、1億1千9百万円となりました。

##### < 営業活動によるキャッシュ・フロー >

営業活動の結果得られた資金は、1億5千8百万円となりました。これは主に当第3四半期会計期間は税引前四半期純利益を3千万円計上、売上債権が6千4百万円減少したこと、資金支出のない減価償却費が6千9百万円あったことによるものです。

##### < 投資活動によるキャッシュ・フロー >

投資活動の結果使用した資金は、3千5百万円となりました。これは主に関係会社への短期貸付による支出が3千万円あったことによるものです。

##### < 財務活動によるキャッシュ・フロー >

財務活動の結果使用した資金は1億8千1百万円となりました。これは主に長期借入れによる収入が8千8百万円ありましたが、短期借入金の返済が9千5百万円、長期借入金の返済が1億7千4百万円あったことによるものです。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期会計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (4) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第3四半期会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第3四半期会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

## 第4【提出会社の状況】

### 1【株式等の状況】

#### (1)【株式の総数等】

##### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

##### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成20年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成21年2月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	17,666,000	17,666,000	東京証券取引所市場第二部	権利内容に何ら限定のない 当社における 標準となる株式 単元株式数 1,000株
計	17,666,000	17,666,000	-	-

#### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

#### (3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

#### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成20年10月1日～ 平成20年12月31日	-	17,666,000	-	883,300	-	399,649

#### (5)【大株主の状況】

大量保有報告書等の写しの送付等がなく、当第3四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載する事ができないことから、直前の基準日（平成20年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成20年12月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 65,000	-	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式 単元株式数 1,000株
完全議決権株式（その他）	普通株式 17,433,000	17,433	同上
単元未満株式	普通株式 168,000	-	同上
発行済株式総数	17,666,000	-	-
総株主の議決権	-	17,433	-

（注）「完全議決権株式（その他）」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が6,000株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数6個が含まれております。

【自己株式等】

平成20年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%）
花月園観光株式会社	横浜市鶴見区鶴見1丁目1番1号	65,000	-	65,000	0.37
計	-	65,000	-	65,000	0.37

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成20年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高（円）	93	109	107	85	81	69	64	77	55
最低（円）	70	74	83	73	67	60	47	41	41

（注）最高・最低株価は、東京証券取引所市場第二部におけるものであります。

3 【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の変動はありません。



## 第5【経理の状況】

### 1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号、以下「四半期財務諸表等規則」という。）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第3四半期会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）及び当第3四半期累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）に係る四半期財務諸表について、あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

### 3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1【四半期財務諸表】  
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	169,231	119,253
売掛金	168,214	120,403
原材料	2,614	3,962
関係会社短期貸付金	30,000	482,496
その他	27,565	22,504
流動資産合計	397,624	748,620
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,437,225	3,177,607
構築物(純額)	1,117,686	1,127,422
機械及び装置(純額)	47,941	52,850
車両運搬具(純額)	295	61
工具、器具及び備品(純額)	67,024	66,397
土地	1,526,995	1,318,185
有形固定資産合計	6,197,168	5,742,525
無形固定資産	35,202	13,521
投資その他の資産	200,336	408,243
固定資産合計	6,432,707	6,164,290
資産合計	6,830,332	6,912,911

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,090	2,848
短期借入金	-	369,500
1年内返済予定の長期借入金	1,188,098	580,378
未払金	149,232	119,221
未払法人税等	6,908	4,260
未払消費税等	12,641	4,285
前受金	344	1,313
預り金	68,211	7,829
流動負債合計	1,430,527	1,089,637
固定負債		
長期借入金	913,150	1,258,500
長期未払金	35,104	41,332
繰延税金負債	30,066	17,483
退職給付引当金	84,781	84,781
負ののれん	36,792	39,916
その他	5,000	5,000
固定負債合計	1,104,894	1,447,013
負債合計	2,535,421	2,536,651
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	883,300	883,300
資本剰余金	399,649	399,649
利益剰余金	3,002,343	3,076,004
自己株式	9,030	8,593
株主資本合計	4,276,262	4,350,360
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	18,647	25,899
評価・換算差額等合計	18,647	25,899
純資産合計	4,294,910	4,376,260
負債純資産合計	6,830,332	6,912,911

( 2 ) 【四半期損益計算書】  
 【第3四半期累計期間】

( 単位：千円 )

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	1,279,856
売上原価	884,126
売上総利益	395,730
販売費及び一般管理費	397,902
営業損失( )	2,172
営業外収益	
受取利息	1,703
受取配当金	3,253
負ののれん償却額	3,123
その他	1,335
営業外収益合計	9,416
営業外費用	
支払利息	72,057
その他	372
営業外費用合計	72,430
経常損失( )	65,186
特別損失	
固定資産除却損	6,257
特別損失合計	6,257
税引前四半期純損失( )	71,443
法人税、住民税及び事業税	2,218
四半期純損失( )	73,661

【第3四半期会計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
売上高	482,063
売上原価	297,479
売上総利益	184,583
販売費及び一般管理費	131,319
営業利益	53,263
営業外収益	
受取利息	31
受取配当金	459
負ののれん償却額	1,041
その他	419
営業外収益合計	1,951
営業外費用	
支払利息	24,091
その他	123
営業外費用合計	24,214
経常利益	31,001
特別損失	
固定資産除却損	279
特別損失合計	279
税引前四半期純利益	30,721
法人税、住民税及び事業税	739
四半期純利益	29,982

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純損失( )	71,443
減価償却費	209,637
有形固定資産除却損	4,275
のれん償却額	2,411
負ののれん償却額	3,123
受取利息及び受取配当金	4,957
支払利息	72,057
売上債権の増減額( は増加)	8,198
たな卸資産の増減額( は増加)	1,481
仕入債務の増減額( は減少)	9,478
未払消費税等の増減額( は減少)	8,241
預り金の増減額( は減少)	59,773
その他	12,230
小計	272,907
利息及び配当金の受取額	4,974
利息の支払額	70,232
法人税等の支払額	1,368
営業活動によるキャッシュ・フロー	206,281
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
関係会社株式の取得による支出	16,000
短期貸付金の回収による収入	24,996
短期貸付けによる支出	30,000
長期貸付金の回収による収入	125,016
有形固定資産の取得による支出	48,030
担保定期預金の預入による支出	50,000
その他	148
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,130
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入れによる収入	100,000
短期借入金の返済による支出	469,500
長期借入れによる収入	706,500
長期借入金の返済による支出	543,730
割賦債務の返済による支出	6,228
自己株式の取得による支出	436
財務活動によるキャッシュ・フロー	213,395
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	983
現金及び現金同等物の期首残高	119,253
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	961
現金及び現金同等物の四半期末残高	119,231

【四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当第3四半期累計期間（自平成20年4月1日至平成20年12月31日）

該当事項はありません。

【簡便な会計処理】

	当第3四半期累計期間 （自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）
繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法	繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末 (平成20年3月31日)
有形固定資産の減価償却累計額は、10,177,885千円であります。	有形固定資産の減価償却累計額は、9,660,452千円であります。

(四半期損益計算書関係)

当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
給与及び手当	171,936千円

当第3四半期会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
給与及び手当	57,753千円

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年12月31日現在)	
	(千円)
現金及び預金四半期末残高	169,231
担保に供している定期預金	50,000
現金及び現金同等物	119,231



(株主資本等関係)

当第3四半期会計期間末(平成20年12月31日)及び当第3四半期累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数

普通株式 17,666,000株

2. 自己株式の種類及び株式数

普通株式 66,453株

3. 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4. 配当に関する事項

該当事項はありません。

(有価証券関係)

該当事項はありません。

(デリバティブ取引関係)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
持分法を適用した場合の投資利益の金額(千円)	13,893

	当第3四半期会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
関連会社に対する投資の金額(千円)	40,000
持分法を適用した場合の投資の金額(千円)	26,305
持分法を適用した場合の投資利益の金額(千円)	14,254

(ストック・オプション等関係)

当第3四半期会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

当第3四半期会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)		前事業年度末 (平成20年3月31日)	
1株当たり純資産額	244.04円	1株当たり純資産額	248.57円

2. 1株当たり四半期純利益(損失)金額

当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)		当第3四半期会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	
1株当たり四半期純損失金額	4.18円	1株当たり四半期純利益金額	1.70円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません。		なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。	

(注) 1株当たり四半期純利益(損失)金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
四半期純利益(損失)(千円)	73,661	29,982
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(損失)(千円)	73,661	29,982
期中平均株式数(千株)	17,602	17,600

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(リース取引関係)

当第3四半期累計期間  
(自平成20年4月1日  
至平成20年12月31日)

所有権移転外ファイナンス・リース取引について通常の賃借取引に係る方法に準じて処理を行っており、リース取引残高が前事業年度末に比べて著しい変動が認められます。

(借主側)

1. リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額、及び残高相当額

	取得価額 相当額 (千円)	減価償却 累計額相 当額 (千円)	残高相当 額 (千円)
車両運搬具	3,756	2,191	1,565
器具備品	71,496	43,204	28,291
無形固定資産	210,693	15,691	195,002
合計	285,946	61,087	224,859

(注) 取得価額相当額は、未経過リース料残高が有形固定資産の残高等に占める割合が低いため、支払利子込み法により算定しております。

2. 未経過リース料残高相当額等

未経過リース料残高相当額

1年内	41,713千円
1年超	183,145
合計	224,859

(注) 未経過リース料残高相当額は、未経過リース料残高が有形固定資産の残高等に占める割合が低いため、支払利子込み法により算定しております。

3. 四半期会計期間及び四半期累計期間に係る支払リース料及び減価償却費相当額

	会計期間 (千円)	累計期間 (千円)
支払リース料	10,428	21,756
減価償却費相当額	10,428	21,756

4. 四半期会計期間及び四半期累計期間の減価償却費相当額の算定方法

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年2月13日

花月園観光株式会社

取締役会 御中

あずさ監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 丸山 邦彦 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 山口 直志 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 根本 剛光 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている花月園観光株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの第72期事業年度の第3四半期会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）及び第3四半期累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析の手續その他の四半期レビュー手續により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手續により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、花月園観光株式会社の平成20年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期会計期間及び第3四半期累計期間の経営成績並びに第3四半期累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1.上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が四半期財務諸表に添付する形で別途保管しております。

2.四半期財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。